

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・前年同月は行動制限により売上が低迷したが、本年はその反動で大きく伸長している。気温も低下し、衣料品の防寒物の動向やインバウンドも2019年比15%程度の戻りで底上げが図れている。
	○	一般小売店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の重症者数が減少し、5類感染症扱いになるようである。また海外の観光客も増えてきており、今後インバウンド効果に期待ができる。
	○	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・買上点数の減少が響き、売上は前年割れが続いており厳しい状況だが、来客数については前年を超えるようになってきている。
	○	スーパー（販売企画）	単価の動き	・商品値上げの影響で単価は前年を上回っているが、買い控えがあり買上点数はマイナスである。それが相殺される状況のなかで、来客数は前年並みなので売上も前年並みとなっている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数が増えている。またレジ横に置いている商品の売上が伸びている。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると良くなっているが、今月に限っては前月ほどの景気の良さを実感できない。全国旅行支援などの効果も前回ほどはないように見受けられる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・1月初売りの来客数は新型コロナウイルス感染症発生前までとは言わないが確実に増えており、それに比例して新車成約台数も増えている。
	○	その他専門店 〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・冬休みの影響で増えていた販売数が落ち着いている。卸先からは外国人観光客が増えていると聞き、悪くない部分と、電気代の高騰もあり商品の値上げを考えたりと大変な部分どちらもある。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・全国旅行支援は割引率が下がっているが、宿泊予約は動いている。2019年比の7割まで回復している。料飲部門の宴会や会食も以前と比べて良く、2019年比の6割である。
	○	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの10月の販売室数が前年比259%増加なのに対し、1月の販売室数は前年比280%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・個人旅行、出張手配なども徐々にではあるが販売量も増えて、回復傾向になっている。
	○	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・県内客の反響が増加傾向だが、県外からも売買物件、賃貸物件の反響も共に増加傾向にある。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・戸建て住宅や分譲マンションの販売に予想以上に時間が掛かっている。
	▲	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・客層である中小企業従業員の賃上げも期待できず、来客数や客の消費行動にも影響が出始めてきているとみられる。
	▲	乗用車販売店（経理担当）	お客様の様子	・受注実績が悪化している。
	▲	一般レストラン（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの影響で客の動きが弱い。
	▲	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年だと12月並みに入客があるが、今年は新型コロナウイルス感染症の第8波と、インフルエンザ流行が重なり、地元団体予約のキャンセルが相次ぎ、新型コロナウイルス感染症発生前の年の半分ぐらいいしか入客が取れていない。
	▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。新型コロナウイルス感染症の影響で客足が鈍っていた前年と比べても70%となっている。来店からオンラインへの移行への影響もあるが、物価上昇により消費意欲が下がっていることも要因と考えられる。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・まだ新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着かない状況で、大変困っている。少し状況が良い店もあるが、ほとんどは不景気状態である。	
×	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・1月上旬の初売りまでは前年並みに推移していたが、中旬以降急速に来客数が落ち込んでいる。	
企業	◎	－	－	－

動向 関連 (沖縄)	○	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量 の動き	・今年になっても、観光土産、飲食等業務店向けの売上が 順調に推移している。
	□	窯業土石業(取 締役)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較すると、見積依頼は公共、民間とも大き な変化はなく横ばいの状況である。
	□	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・以前から打合せしていた客が、最近の資材価格の高騰で なかなか契約に踏み切れない。
	□	会計事務所(所 長)	取引先の様子	・エネルギーコストの増加により飲食業は回転率を上げる しかないが、利益には貢献しない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少しずつ好転するな か、求人、求職とも動き出しているように見受けられる。 特に今まで求人を出しても反応が薄く人手不足が続いて いたが、新型コロナウイルスの感染状況が少しずつ好転し ているせいか、ようやく求職に対して前向きな行動が始ま った雰囲気がある。
	○	求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・業種を問わず全体的に求人数が増加している。2022年内 で求人数が多かった3か月前と比較すると、今月は5%程 度増加している。年明け以降の応募効果が上がる時期を見 込んだ、求人機会の増加とみている。
	○	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人条件が良くなる、また賃金などが増加する傾向では あるが、それでも応募者がいないなどの状況がある。
	○	学校[専門学 校](就職担 当)	求人数の動き	・前年以上の求人があることと併せて、例年3月以降に説 明会及び選考会を実施していた企業が、2月での説明会を 希望し、随時選考試験を実施している状況がある。人手不 足が著しいなか、早期で新卒学生を確保したいという気持 ちの表れだとみている。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・求人案件は増えているが、求職者の動きが鈍い。
	□	学校[大学] (就職支援担 当)	周辺企業の様子	・燃料の価格高騰、円安など経済活動への悪影響がみられ る。
	▲	—	—	—
×	—	—	—	